

▼ゼプリオン水懸筋注シリンジ [注]

【重要度】★★★【透析患者に投与禁忌】 【一般製剤名】パリエリドンパルミチン酸エステル paliperidone palmitate 【分類】持続性抗精神病剤

【単位】▼25mg/0.25mL, ▼50mg/0.5mL, ▼75mg/0.75mL, ▼100mg/1mL, ▼150mg/1.5mL シリンジ

【常用量】初回 150mg, 1 週後に 2 回目 100mg, 以後 4 週に 1 回 75mg [維持量 25~150mg] ■増量幅は 50mg まで

【用法】筋注 [静注不可]

【透析患者への投与方法】禁忌 (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】Ccr 50~79mL/min : 初回 100mg, 1 週後に 2 回目 75mg, 以後 4 週に 1 回 50mg で維持量 25~100mg [増量幅 25mg まで], Ccr 50mL/min 未満 : 排泄が遅延するため禁忌 (1)

【特徴】パリエリドンの持続性製剤。投与部位で活性本体であるパリエリドンに加水分解される。

【主な副作用・毒性】悪性症候群, 遅発性ジスキネジア, イレウス, SIADH, 横紋筋融解症, 肝障害, 不整脈, 脳血管障害, 高血糖, 低血糖, 血球減少, 静脈血栓, 感染症, アナフィラキシー, 高プロラクチン血症, 不眠, 不安, アカシジア, 霧視, めまいなど多数

【安全性に関する情報】過量投与により, 傾眠, 鎮静, 頻脈, 低血圧, QT 延長, 錐体外路症状等が起りえる。解毒剤はなく, 対症療法 (1)

【F】100% [im] (1)

【tmax】11~18 日 (1)

【代謝】セリンエステラーゼによりパリエリドンに加水分解される (1) その他はパリエリドン参照

【排泄】パリエリドン参照

【CL】5L/hr (1) パリエリドンは P-gp の基質 (1)

【t1/2】47 日 (1)

【蛋白結合率】73.2% (1)

【Vd】391L/man (1)

【MW】664.89

【透析性】資料なし (1) 除去率は低いと思われる (5)

【更新日】20190126

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。